



堺市長
竹山 修身

活気みなぎるアセアン諸国と 歴史と「ものづくり」のまち堺市との 交流を深める一年に

堺市は、古来から海外との交流により発展してきた歴史と伝統を有するまちです。現在世界文化遺産への登録をめざしている仁徳天皇陵古墳も、築造に際しては朝鮮半島から渡来した当時の最先端技術である鉄器が大量に用いられました。また、16世紀には、東南アジアやヨーロッパ諸国との交易を通じて「東洋のベニス」と謳われるほど繁栄し、茶道をはじめとする独自の文化が生まれるとともに、鉄砲や刃物の製造などの技術が育まれ、今日の堺のものづくりの基盤が形成されました。

とりわけアセアン諸国とは、堺商人が東南アジア一帯で交易に活躍していた中世の時代から今日まで400年を超える長い交流の歴史を有しています。この歴史を踏まえて本市では、近年目覚ましい発展を遂げているアセアン諸国との関係をさらに深めるため「堺・アセアンウィーク」事業を実施しています。

本事業では、カンボジア王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国から各国の大学生を「民間大使」として招へいしています。民間大使は、堺市内の学校で各国の文化や言葉を紹介する活動を行い、堺の子どもとアセアンの未来を担う若い世代がつながりを持つ貴重な機会となっています。その他にも学生フォーラム、堺・アセアン文化紹介、写真展等を通じて市民レベルでの交流の輪が広がっています。

また今年、日本・ASEAN友好協力40周年、本市と縁の深いベトナムとは、日本・ベトナム外交関係樹立40周年の記念すべき年にあたることから、これまでの文化交流事業や経済ミッションの派遣に加え、記念事業を実施することにより、堺とアセアン諸国の文化、教育、経済、観光等幅広い分野における活発な交流を促進してまいります。

今後とも関西国際空港からのアクセスの利便性を活かしながら、本市の持つ歴史・文化遺産の素晴らしさや刃物をはじめとする伝統産業、臨海部の最先端の企業群などの「堺の匠の技」を国の内外に向け広くアピールしていきたいと考えています。

皆様におかれましては、今後も引き続き、本市のさらなる飛躍と発展に向けて、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。